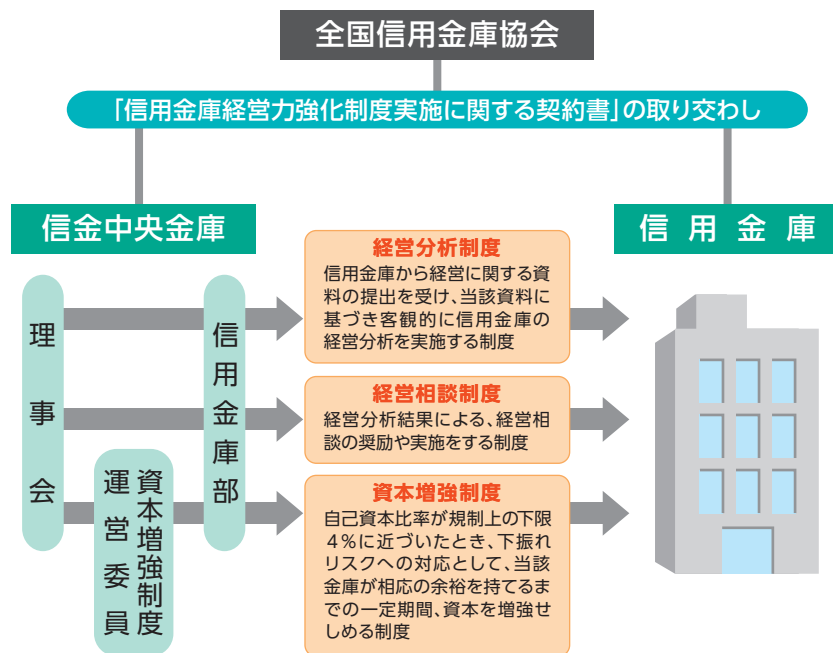


『信用金庫経営力強化制度』

信用金庫経営力強化制度は、信用金庫の経営力強化に努め、一時的な要因により自己資本比率が低下するような場合には、信金中央金庫から自己資本の増強を支援することによって、信用金庫の経営悪化を未然に防止しようとするもので、業界のセーフティネットの性格を有するものです。

信金中央金庫は、「個別金融機関」と「信用金庫のセントラルバンク」という2つの役割を併せ持つ金融機関であり、邦銀有数の規模と効率性を有しています。



連結の範囲に関する事項(定性的な開示)

子会社の概況

結城信用金庫グループは、当金庫、子会社1社で構成され、信用金庫業務を中心に、事務用品等の一括購入などのサービスを提供しております。



(2020年6月末現在)

会社名	所在地	主要業務内容	設立年月日	資本金又は出資金	当金庫の議決権比率	子会社等の議決権比率
(株)ユーシンビジネスサービス	茨城県結城市大字結城557番地	事務用品等の一括購入、他結城信用金庫の委託に基づく業務	平成5年10月1日	10百万円	100%	—%

連結情報

当金庫では、子会社である(株)ユーシンビジネスサービスは当信用金庫グループの財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を誤らせない程度に重要性が乏しいと認められるため、連結財務諸表は作成しておりません。連結自己資本比率については、その内容を開示しております。

なお、資産基準、経常収益基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は下記のとおりであります。

下記算式において、当金庫と子会社間の債権債務及び相互の取引による収益・費用は相殺消去しておりません。

資産基準	=	$\frac{\text{子会社の総資産額の合計額}}{\text{当金庫の総資産額}}$	=	$\frac{18\text{百万円}}{392,852\text{百万円}} \times 100 = 0.00\%$
経常収益基準	=	$\frac{\text{子会社の経常収益の合計額}}{\text{当金庫の経常収益}}$	=	$\frac{83\text{百万円}}{4,598\text{百万円}} \times 100 = 1.80\%$
利益基準	=	$\frac{\text{子会社の当期利益の額のうち持分の合計額}}{\text{当金庫の当期純利益}}$	=	$\frac{\Delta 0\text{百万円}}{446\text{百万円}} \times 100 = \Delta 0.17\%$
利益剰余金基準	=	$\frac{\text{子会社の利益剰余金のうち持分の合計額}}{\text{当金庫の利益剰余金}}$	=	$\frac{7\text{百万円}}{16,881\text{百万円}} \times 100 = 0.04\%$